



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 良三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長 (氏名) 佐川 武志 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,535	△15.2	1,116	△75.2	1,876	△53.8	1,379	△41.7
25年3月期第2四半期	20,679	87.8	4,499	261.3	4,063	271.9	2,367	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,042百万円(△11.9%) 25年3月期第2四半期 2,317百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	93.37	—
25年3月期第2四半期	171.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	47,958	23,015	48.0
25年3月期	44,434	21,333	48.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 23,000百万円 25年3月期 21,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
26年3月期	—	25.00			
26年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	1.7	3,820	△47.2	4,520	△44.4	3,140	△53.5	212.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,776,321株	25年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	50株	25年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	14,776,271株	25年3月期2Q	13,800,772株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月に実施された参議院選挙の結果を受けて、政権基盤の安定により長期的な視点に立った経済運営が可能になるとの期待から、企業、消費者の景況感の改善が進みました。民間設備投資、消費も着実な増加傾向を示し、景気は穏やかな回復基調を辿りました。

このような経済状況の下で、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具の新製品開発、製造及び販売に経営資源を集中して取り組みました。高効率直管型LED照明器具のLEDZ TUBEシリーズ等の新製品の販売は大きく伸びたものの、既存製品の売上高が昨年度の水準を下回ったため、当第2四半期連結累計期間における売上高は、175億35百万円(前年同四半期比15.2%の減収)となりました。

売上高の減少による操業度の低下に加えて、円安の進行により輸入品の原価が上昇し、営業利益は、11億16百万円(前年同四半期比75.2%の減益)と大幅な減益となりました。経常利益は、円安の進行により為替差益が発生したこと等から、18億76百万円(前年同四半期比53.8%の減益)となりました。

円安の進行により、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価益が1億66百万円発生し、四半期純利益は13億79百万円(前年同四半期比41.7%の減益)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、日本全国13都市にショールームを開設するとともに、展示会の開催等の積極的な販売活動を展開することにより、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。新製品に対する大手設計事務所、ゼネコン、サブコン等の評価も高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売だけでなく、既存照明器具の取り換え需要に対しても積極的に販売活動を推進しました。しかしながら、昨年度の大幅な需要増加の反動もあって照明業界全体の市場拡大は減速し、当セグメントの売上高は減少しました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司(中国)は、LED照明器具の主力製造工場として生産体制を強化し、高品質でローコストな製品の安定供給を実現しておりますが、急激な円安進行により、円ベースの製造コストが上昇し、連結売上総利益率が低下しました。

この結果、売上高は183億24百万円(前年同四半期比8.7%の減収)(セグメント間取引含む。以下同じ。)、セグメント利益(営業利益。以下同じ。)は17億7百万円(前年同四半期比63.5%の減益)となりました。

② 環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器のレンタル契約実績、機器販売高は順調に推移しましたが、売上高に占める相対的に利益率の低い製品の割合が上昇したことで、セグメント利益が圧迫されました。

この結果、売上高は31億52百万円(前年同四半期比6.0%の増収)、セグメント利益は3億52百万円(前年同四半期比39.5%の減益)となりました。

③ インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。更なるコストダウン・物流合理化を推進することで採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は3億89百万円(前年同四半期比4.3%の減収)と減収となりましたが、採算重視の営業活動を展開した結果、セグメント損失は42百万円(前年同四半期は63百万円のセグメント損失)と前期比で改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は479億58百万円(前連結会計年度末比35億24百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として現金及び預金の増加13億49百万円及びたな卸資産の増加11億52百万円、有形固定資産の増加21億99百万円、減少要因として売上債権の減少19億39百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は249億43百万円(前連結会計年度末比18億42百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として借入金の増加37億28百万円、減少要因として未払法人税等の減少16億82百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は230億15百万円(前連結会計年度末比16億81百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として四半期純利益13億79百万円及び為替換算調整勘定の増加7億74百万円、減少要因として剰余金の配当3億69百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、75億67百万円(前年同四半期比39億36百万円の増加)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、6億83百万円(前年同四半期は2億91百万円の減少)となりました。

主な要因は、増加要因として税金等調整前四半期純利益19億97百万円及び売上債権の減少19億60百万円、減少要因としてたな卸資産の増加9億28百万円及び法人税等の支払額24億82百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、29億96百万円(前年同四半期は22億18百万円の減少)となりました。

主な要因は、固定資産の取得による支出29億63百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、32億56百万円(前年同四半期は35億6百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として借入金の増加37億26百万円、減少要因として配当金の支払3億68百万円であります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年7月31日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成26年3月期通期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 44,000	百万円 5,700	百万円 6,480	百万円 4,190	円 銭 283.56
②今回修正予想	40,500	3,820	4,520	3,140	212.50
③増減額 ②-①	△3,500	△1,880	△1,960	△1,050	—
④増減率 ③/①	△8.0	△33.0	△30.2	△25.1	—
(参考)前期実績 (平成25年3月期)	39,826	7,237	8,124	6,749	472.45

(参考)

平成26年3月期通期個別業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 40,230	百万円 4,520	百万円 2,930	円 銭 198.29
②今回修正予想	37,210	2,550	1,830	123.84
③増減額 ②-①	△3,020	△1,970	△1,100	—
④増減率 ③/①	△7.5	△43.6	△37.5	—
(参考)前期実績 (平成25年3月期)	37,367	5,774	3,848	269.40

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	7,567
受取手形及び売掛金	7,372	5,432
商品及び製品	6,974	6,526
仕掛品	429	532
原材料及び貯蔵品	3,568	5,067
繰延税金資産	1,285	1,364
デリバティブ債権	172	146
その他	1,647	2,201
貸倒引当金	△56	△63
流動資産合計	27,612	28,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,952	7,261
減価償却累計額	△2,336	△2,464
建物及び構築物(純額)	4,616	4,796
機械装置及び運搬具	2,261	2,577
減価償却累計額	△1,422	△1,530
機械装置及び運搬具(純額)	838	1,046
土地	3,662	3,635
リース資産	1,038	1,035
減価償却累計額	△185	△266
リース資産(純額)	852	769
建設仮勘定	1,628	2,173
その他	4,090	5,718
減価償却累計額	△2,307	△2,560
その他(純額)	1,782	3,157
有形固定資産合計	13,380	15,579
無形固定資産		
ソフトウェア	619	611
のれん	863	956
その他	120	149
無形固定資産合計	1,603	1,717
投資その他の資産		
投資有価証券	292	327
繰延税金資産	486	641
デリバティブ債権	719	538
その他	461	499
貸倒引当金	△120	△120
投資その他の資産合計	1,838	1,886
固定資産合計	16,821	19,183
資産合計	44,434	47,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,835	3,644
短期借入金	6,135	5,451
1年内返済予定の長期借入金	1,577	2,422
リース債務	194	196
未払法人税等	2,435	752
賞与引当金	501	173
役員賞与引当金	40	—
製品保証引当金	691	612
デリバティブ債務	69	22
その他	1,605	1,479
流動負債合計	16,085	14,755
固定負債		
長期借入金	4,201	7,767
リース債務	885	786
繰延税金負債	128	93
退職給付引当金	475	462
役員退職慰労引当金	399	410
修繕引当金	25	28
デリバティブ債務	644	336
その他	255	302
固定負債合計	7,015	10,187
負債合計	23,100	24,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	9,822	10,832
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,517	21,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	59
繰延ヘッジ損益	104	△18
為替換算調整勘定	658	1,432
その他の包括利益累計額合計	801	1,473
少数株主持分	15	14
純資産合計	21,333	23,015
負債純資産合計	44,434	47,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,679	17,535
売上原価	11,108	11,256
売上総利益	9,570	6,278
販売費及び一般管理費	5,070	5,162
営業利益	4,499	1,116
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	13
受取賃貸料	14	14
仕入割引	3	2
為替差益	—	916
その他	43	48
営業外収益合計	67	996
営業外費用		
支払利息	76	77
売上割引	165	149
為替差損	173	—
その他	88	9
営業外費用合計	503	236
経常利益	4,063	1,876
特別利益		
固定資産売却益	0	—
デリバティブ評価益	—	166
特別利益合計	0	166
特別損失		
固定資産除売却損	2	11
減損損失	0	34
デリバティブ評価損	371	—
その他	14	—
特別損失合計	388	45
税金等調整前四半期純利益	3,675	1,997
法人税、住民税及び事業税	1,600	815
法人税等調整額	△288	△193
法人税等合計	1,312	621
少数株主損益調整前四半期純利益	2,363	1,375
少数株主損失(△)	△3	△4
四半期純利益	2,367	1,379

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,363	1,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	20
繰延ヘッジ損益	△30	△122
為替換算調整勘定	△7	769
その他の包括利益合計	△45	667
四半期包括利益	2,317	2,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,323	2,051
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,675	1,997
減価償却費	602	772
減損損失	—	34
のれん償却額	21	34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	45	△326
製品保証引当金の増減額(△は減少)	213	△79
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	11
受取利息及び受取配当金	△6	△13
支払利息	76	77
固定資産除売却損益(△は益)	2	11
デリバティブ評価損益(△は益)	371	△166
売上債権の増減額(△は増加)	△466	1,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,502	△928
仕入債務の増減額(△は減少)	290	914
未払金の増減額(△は減少)	△0	△232
その他	△669	△830
小計	1,724	3,226
利息及び配当金の受取額	6	13
利息の支払額	△74	△73
法人税等の支払額	△1,948	△2,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291	683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,170	△2,856
無形固定資産の取得による支出	△35	△107
その他	△13	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,218	△2,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,268	△686
長期借入れによる収入	800	5,288
長期借入金の返済による支出	△628	△876
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	993	—
セール・アンド・リースバックによる収入	661	—
リース債務の返済による支出	△60	△101
株式の発行による収入	2,229	—
自己株式の売却による収入	1,985	—
少数株主からの払込みによる収入	12	—
配当金の支払額	△220	△368
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,506	3,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	952	1,349
現金及び現金同等物の期首残高	2,678	6,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,631	7,567

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	17,384	2,888	407	20,679	20,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,680	86	—	2,767	2,767
計	20,064	2,974	407	23,446	23,446
セグメント利益又は損失(△)	4,677	582	△63	5,196	5,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,196
セグメント間取引消去	△123
全社費用(注)	△573
四半期連結損益計算書の営業利益	4,499

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,110	3,034	389	17,535	17,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,213	117	—	4,331	4,331
計	18,324	3,152	389	21,866	21,866
セグメント利益又は損失(△)	1,707	352	△42	2,017	2,017

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,017
セグメント間取引消去	△289
全社費用(注)	△612
四半期連結損益計算書の営業利益	1,116

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。